

「自衛隊要請で防衛副大臣に」

安倍晋三元首相は、24日の東京都世田谷区での演説で、安倍政権時に防衛副大臣を務めた若宮健嗣東京5区候補について「自衛隊から『若宮さんを留任させてほしい』という要請がきた。それで異例ではあるが副大臣を2期連続やっても良かった」と述べました。ツイッターにも同様の内容を投稿しました。

一連の発言が事実であ

安倍元首相

文民統制反する発言

れば、実力組織である軍隊（自衛隊）を政治の下に置くシビリアンコントロール（文民統制）の原則に反する重大問題です。一般論として自衛隊の要請を受けて防衛副大臣を任命することがあるのかとの本紙の取材に対して、防衛省は26日、「国務大臣の任命権は総理大臣

臣にあるので、防衛省は答えられない」と述べるにとどめました。当時首相だった安倍氏が、若宮氏を防衛副大臣に再任したのは2016年8月5日の閣議です。首相動静によると、安倍氏は直前の7月29日、8月4日と相次いで自衛隊トップの河野克俊統合幕

僚長と面会してました。

河野氏によれば、安倍政権期に首相と統幕長との面会が定例化。その後の菅、岸田政権にも引き継がれています。河野氏は、安倍政権の功績として、「自衛隊と政治の距離が近づいた」ことを挙げています。

安倍氏の発言が示すのは、こうした「政治」と「軍事」の危険な接近です。首相経験者が演説でこうした発言をしたのは、文民統制に無理強であることとを浮き彫りにしました。